

報 告 書

開 催 日 時	令和8年7月17日 19時00分 ～ 21時00分		
自治協議会名	大山田地区住民自治協議会 連絡会	開 催 場 所	大山田福祉センター
出席議員	陶山美佐、森中秀哲、山口康子、福岡正康、宮崎栄樹、桃井弘子		
	班 長	陶山美佐	記 録・報告者 森中秀哲
参加人数	50 名		

【主な意見・提言等】

1) 産業廃棄物処理場について

- 全国の産業廃棄物処理場の事案について調べたが、阿波地域の産業廃棄物処理場は6年もかかっている、他所に比べて動きが遅く、危機感を感じている。
- 伊賀市水道水源保護審議会の動きや住民からの意見書に対しての相手の動きを見ていると、相手は涼しい顔をしている。それでも怯まず、強く反対していきたい。
- 阿波地域だけの問題ではなく、伊賀全体の問題だと思う。県への要望書の他に伊賀市への要望書を出し、前市長であった岡本市長に受理していただいた。市議会への請願も提出し、採択された。稲森市長は我々の願いを聞いてくれると期待している。
請願書は通ったが、議員はみんな同じ熱量があるのか。
- 水道水源保護審議会を2年間で8回開催した。産業廃棄物処理業者は、伊賀市の審査に時間がかかりすぎているという書面を提出してきた。しかし同審議会は伊賀市のペースで進めてきたし、影響されてはいけないと思う。今月最終答申書をまとめ上げる。
一方、伊賀地域全体の住民自治協議会に対して反対の署名運動をしている。まだ全地域には回りきれていないが、7月中を目処としている。できるだけ多くの署名を集めるべく走り回っており、伊賀市全体で反対の機運を高めていきたい。産業廃棄物処理業者に対して意見書を2回出しているが、2回目に対する返答が、1年経ってもない。いつまでに返答をするのか、相手に確認したい。
- いろんな方面から反対のアプローチをしていかないといけない。市議会議員としては反対ということがわかって安心した。産業廃棄物処理場は最終的に三重県の許可という形になるので、伊賀市選出の県議2名の意見が気になる。
- 市・地域・市議会・県議が連携して反対の動きをしていきたい。

2) 阿波診療所について

冒頭、6月定例月会議での山田診療所廃止条例案に関する教育民生常任委員会での質疑と答弁について議員から説明。「市としてどう存続させていくか、これから検討していくとの答弁を得ている」

- 昨年、いきなり区長会で、阿波診療所ができてから何年経過し、毎年の赤字の額や累積赤字の額の説明だけを受けた。できるだけ利用していただきたいと言われて、変に思った。地元の高齢者は病気になると施設に入る人が多く、そういう人の利用はなくなる。
- 市の医療従事者確保策はどうなっているのか。現在の医師の定年を機に廃止に持っていこうとしているのではないか。
- 医療や教育に関しては損得の物差しで考えてはいけない。住民の健康を守るといって、別の次元でも検証が必要。
- 手を挟んだ際、阿波診療所で診てもらった。レントゲンを撮ってもらったら20年前の機器だった。「異常なし、日にち薬」との診断であったが、良くならないので別の病院に行ったら、骨にヒビが入っていた。去年実際にあった話。機器の整備も必要だ。
- 診療所の存続が産業廃棄物処理場の交渉の駆け引き材料にされないか、注意が必要だ。

3) その他

- 公共交通

通学定期の補助が出るのは良くなったが、バスの便数が少ないし時間も合わない。上野市駅発の最終が18:20で、高校生はクラブ活動ができない。バスでは通学が困難なので、自家用車で送迎している。高校生は大事な時期だ。未来を担う人材に失礼だと思う。補助金だけでは活性化はできない。以前は20:15発がバスの最終だった。

- 大山田小学校での議会出前講座（今年2月12日 総務常任委員会）
こどもの意見を直接議員に聞いてもらえたことが良かったと思った。
今年度は来ていただけるのか。小学校1学年が30人を下回るようになってきており、こどもの意見を丁寧に聞いてもらうことが必要な時代になっていると思う。
こども対象の木工教室をしているので、よろしければ来ていただきたい。

- 大山田複合施設

住民自治協議会から要望書を市に出したという話を聞いたが、内容を知らない。どういう流れでどういうものを出したのか。市の反応はどうだったか。大山田区民にどのように認識してもらったらいいか。

（山田自治協会長よりご説明いただいた）

- 複合施設用地内の民地の買収

進捗状況はどうなっているのか。議員は予算を認めるだけではなく、執行状況について決算を待たずに状況把握するべき。

- 複合施設用地内の既存建物の撤去費用について（議員から来年度予算と回答）
- 用地一部が河岸侵食の恐れのある場所になっているが、対策について（議員から、まだ案が提出されていないと回答）
- 産業廃棄物処理場と診療所について、福岡議員から処理場反対、診療所廃止反対という意見があったが、出席議員各自の意見を聴きたい。
- 市議会地域意見交換会は、今まで各住民自治協議会に実施してきた。今日は大山田地区の3つの住民自治協議会の合同で行ったので、いろいろな意見が共有できた。議会でしっかり受け止め、市に向かって言っていってほしい。
今日は区長など中心の出席者だが、一般の人の意見も大切だ。地域個別の話もしたいので、今後は住民自治協議会ごとに意見交換会をしていただきたい。

伊賀市議会議長 様

令和8年7月31日

上記のとおり、大山田地区意見交換会の概要について報告いたします。

令和8年度 意見交換会 3班

班長 陶山美佐